



「地域に貢献する人材育成」に向かって半歩前進。卒業生の活躍！

2016年9月に初めての中学卒業生を、そして2022年12月に初めての高校卒業生を送り出して以来、バイヨン高校/附属中学校からは850人ほどの卒業生が巣立っていきました。卒業後は進学したり、働いたりと様々ですが、最近になって、卒業生の活躍を頻繁に耳にするようになりました。

皆、まじめに地道に、与えられた学業や仕事に向き合い、中には傑出した成果を出す卒業生も出てきました。今回は、バイヨン高校/附属中学校卒業生の活躍を皆さんとシェアしたいと思います！

高校卒業第1期生のその後①

王立大学に進学した3人

サエム・セイラー（大学3年生）国家公務員試験合格！

高校卒業試験を最高レベルのAランクで卒業したセイラーは、プロンペンの王立法経済大学行政学部に進学しました。卒業後の希望進路は、公務員又は日本留学とのことでした。

王立法経済大学は日本人教師による日本語授業の選択科目があり、成績優秀者は将来、名古屋大学への留学の道も開かれている大学です。セイラーはこの日本語コースも受講し、テストでは毎回良い成績をおさめていました。

2024年末、卒業後の本受験に備えて国家公務員試験を試し受験してみたところ、思いがけず合格通知を手にすることになりました！本人は全く予期していなかったことです。カンボジアでは、国家公務員採用は非常に狭き門で、次に公募が出るのさえいつになるかわからないことから、ルーチー校長は、大学を中退しても直ちに公務員資格を得ることを強く進めました。しかし、彼女はあるNGO団体から、年間3,000ドル以上の奨学金を受けていて、大学中退となるならば、全額返済を義務付けられていたため、退学もできない板挟み状態に悩むことになりました。

そこで救いの手を差しのべたのは、JST代表チアの友人たち。現在は、大学に在籍しながら、国家公務員の研修を受けている状況です。あと1年半、大学卒業資格も得ることができるよう、JSTではサポートを続けていきたいと考えています。



memo◆改革が進む公務員制度◆

フン・マネット新首相による行政改革の一環として、これまでコネがなければ入ることが難しかった公務員の採用制度を一新し、昨年より、試験による公平な審査を経て、公務員が選出されることとなりました。

実力のみで判断される試験だからこそ、セイラーもティーダーも最年少で見事合格できたといえます。

2人は村内初の国家公務員でもあり、バイヨン高校現役生にも将来への希望をもたらしています。

ドゥー・ティーダー（大学3年生）国家公務員試験合格！

バンテアイムンチエイ州王立大学獣医学部に進学したティーダーも国家公務員試験に合格！

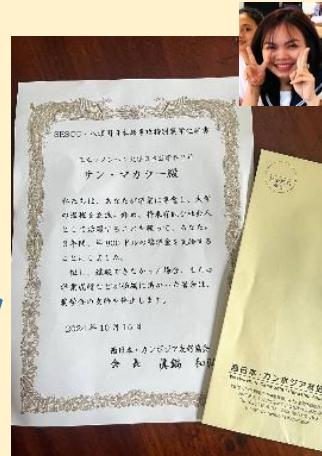
今年に入ってから、大学に在籍しながら、シェムリアップの農林水産局で畜産専門の公務員としての仕事を始めました。



サン・マカラ（大学3年生）日本の団体より奨学金受領！

王立プロンペン大学日本語学科に進学したマカラは、成績優秀者として、西日本・カンボジア友好協会様より、3年間、年800ドルの奨学金をいただくことになりました！

現在は、学業の傍ら、カンボジア人の後輩に日本語を教えています。



高校卒業第1期生のその後② PSE 職業訓練研究所を卒業した4人

『JST だより#015』で紹介しました、プロンペンの PSE (Pour un Sourire d' Enfant 「子供の笑顔のために」)という欧州系の職業訓練研究所で寮生活を送りながら職業訓練を受けていたバイヨン高校卒業第1期生 11 人のうち、2 年コースを受講していた 4 人が、2024 年末からプロンペンで働き始めました！

女性 3 人は外資系のレストランやホテルで、男性 1 人はホテルのメンテナンスを行うエンジニアとしてです。

4 人とも、「思い切ってプロンペンに出てきたことによって、欧米流の高いスキルを身に付けることができた。現在は自分の仕事に誇りと自信をもって日々過ごしている。」と笑顔で話してくれました。



高校卒業第2期生のその後① 地方の大学に進学した2人



前号『JST だより#016』で紹介した JST 奨学金支給対象者、バナック(左)とスレイレアム(右)もそれぞれの大学でさらなる頑張りを見せています。

バッタンバン州の私立大学に進学したバナックは、1 年目の成績は、前期・後期とも学科で 5 番以内、といったところでしたが、2 年目には 1 番をとるようになりました。

バンテアイムンチエイ王立大学獣医学部に進学したスレイレアムは、学業成績が優秀なだけでなく、他大学との交流会で司会・進行を務めるなど活躍し、現在は、大学から学生向けアパートを無償提供されるようになりました。



高校卒業第2期生のその後② 日本の病院で看護助手として働く卒業生

バイヨン高校では理系科目を専攻し、成績優秀だったスレイケオは、ルーキー校長の推薦もあり、高校卒業後は久留米市の聖マリア病院が募集していた介護士業務に挑戦することになりました。

高校卒業後の 1 年間、プロンペンで寮生活をしながら、聖マリア病院のプログラムによる日本語と介護の勉強を続けた結果、日本語能力試験は N3 取得、介護技能評価試験にも合格し、見事、日本の厚生労働省が定める介護分野の特定技能 1 号の在留資格を得ることができました！

そして今年 3 月初旬、仲間と共に日本へ旅立ち、現在は聖マリア病院の介護老人保健施設で、看護助手として介護の仕事を行っています。

病院によると、スレイケオはとても優秀ですので、介護福祉士や看護師の国家資格取得も視野に入れて頑張ってほしいとのことです。そのため、2~3ヶ月して仕事に慣れてきたら、本格的に日本語能力試験 N2 と介護福祉士の勉強を始める予定とのことです。



バイヨン中学校卒業生(高校が併設される以前の卒業生)の活躍!

バイヨン高校/附属中学校は、2013年11月に中学校として創設されました。2016年に初めての中学校卒業生を出して以来、2019年にバイヨン高校が併設され2022年に初めての高校卒業生を送り出すまでの6年間は、進学希望の生徒はシェムリアップ市内の高校へ通うことになりました。中卒すぐに働きはじめた卒業生も多数いたと思われます。

中学卒業後の足取りは途絶えることがほとんどで、校長もそれぞれの生徒の進路を把握できていなかったのですが、最近は、立派に成長した元バイヨン中学校生を町中で見かけたり、中には、バイヨン高校/附属中学校の臨時教師として戻ってきた卒業生もいたりと、思わぬところで再会する機会も増えてきました。



＜バイヨン高校臨時教師＞

Then Kimlang(左)とCheng Nit(右)は、シェムリアップの私立大学で数学の学士号を取得し、現在は中学校の数学の教師になるべく、国家試験合格を目指して大学院に通っています。また、その傍ら、臨時教師として、バイヨン中学校7年生に数学を教えています。
(※臨時教師の給料は、JSTサポート会員の皆さまからの寄付金で賄われています！)



＜山本サーキット＞

バイヨン中学校第1期生のRith Rathaは、市内の高校卒業後の2019年、コンポンスプー州に新しくできた山本サーキットに就職しました。現在は、車の修理からサーキットの運営まで、幅広い業務に携わり、山本サーキットにとって欠かせない存在となっています。

＜日本の機械彫刻技術を継承＞

Chuk Chhoeurnhは、市内の高校卒業後、世田谷の製造会社(株)友成工芸に入社し、シェムリアップのNPIA(カンボジア労働省管轄の職業訓練所)にて、アクリル製品の機械彫刻を行っています。



＜英語塾講師＞

Bun Soneat(左)とChaing Ros(中)は、シェムリアップの私立大学でTESOL(英語を母語としない学習者へ向けた英語教授法)の資格を取り、現在は市内の英語学校で子供たちに英語を教えています。Nich Noch(右)は、大学でITの勉強をし、現在は同じ英語塾で事務の仕事をしながら英語も教えています。



＜新空港職員＞

2023年、シェムリアップ市郊外に新しく開港したアンコール・シェムリアップ空港では、バイヨン高校卒業生が荷物検査員等の業務に携わり、20人ほど働いています。空港を利用するたび、卒業生に声をかけられます。



＜警備員＞

男性の場合、銀行や遺跡、大型店舗などの警備の仕事に携わる卒業生が多いようです。

写真左のTao Vhechは、中学卒業直後は洗車場で働いていましたが、5年前からカンボジア大手銀行ABA Bankで警備員として働いています。

バイヨン高校/附属中学校の校長、教員、理事長も評価を受けました！

バイヨン高校/附属中学校のルー校長、英語のソリヤ先生、そして理事長のチア・ノルも、これまでの実績等でカンボジア王国や日本国から評価を受け、表彰されましたので、ご紹介します。



◆チョム・ルー校長◆

カンボジアの小・中・高校全教師の中から優秀な教師が選出されるフン・セン賞（2022-23年度）に、バイヨン高校/附属中学校のルー校長が選ばれ、フン・マネット首相から表彰されました。



◆英語のチェン・ソリヤ先生◆

2022年12月の中高校卒業試験での生徒への指導力が評価され、バイヨン高校/附属中学校英語教師のソリヤ先生が、フン・マネット首相から表彰されました。



◆チア・ノル理事長◆

日本とカンボジアの相互理解及び交流促進などに対する長年の貢献が評価され、バイヨン高校/附属中学校のチア・ノル理事長が、2023年度の日本の「外務大臣表彰」を受賞し、2024年12月、在カンボジア日本国大使・植野篤大使より表彰されました。



一宮中央ロータリークラブの皆様からご寄贈いただきました！



2025年2月23日、バイヨン高校/附属中学校は、一宮中央ロータリークラブ様からご支援いただき、第4回文化祭を開催することができました。また、同クラブ様からは、ノートパソコンとプロジェクターもご寄贈いただきました！